

経済産業省 経理・財務人材育成事業

FASS 検定「英語版」導入検討に伴う英語教育に関する実態調査

財務マネジメント・サーベイ

「経理・財務部門と英語力」

C F O（経理財務担当役員）各位

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より弊会の諸活動に対しまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

急速なグローバル化の進展に対し、英語力強化は日本企業にとって避けられない大きな課題とされます。英語を社内公用語とする企業が話題になる一方で、あくまで英語は手段に過ぎないとの認識により英語偏重の姿勢に対する懸念の声も聞こえてくるのが実情ですが、現実には新卒での外国人採用も本格化し始めるなど、企業の現場では英語力対応のスピードは加速しています。

英語力強化だけがグローバル対応ではないという指摘は当然ながら、英語力が日本企業のグローバル化の大きなネックとなっていることも間違いのないでしょう。

こうした認識のもと今回の財務マネジメント・サーベイでは、CFO が経理・財務部門の英語力強化に対してどのように考えているのか、現状についての実態調査を行うことと致しました。現在、弊会では英語による経理・財務の実務能力を測定するツールとして、経済産業省経理・財務人材育成事業 FASS 検定の英語版導入も検討しておりますが、是非貴社の英語力強化の取り組み状況についてご回答頂き、今後も引き続き CFO の皆様へのサービス向上に役立てたいと考えております。

ご多忙中とは存じますが、別紙調査票にご回答頂き、F A Xにてご返信頂きますようお願い申し上げます。

謹白

記

調査ご対象者 : 上場企業のC F O（経理財務担当役員）様

ご回答締切日 : **2012年8月8日(水)**

ご照会先 : 日本C F O協会事務局 <http://www.cfo.jp>

TEL 03-3556-2334 FAX 03-3556-2320 e-mail info@cfo.jp

2012年7月
日本C F O協会
専務理事 谷口 宏

ご回答者特典

1. “英語版 FASS 検定”パイロット・テストに貴社から何名でも無料参加可能！

- ・経理・財務部門に必要とされる英語力を測定する格好のチャンス。
- ・8月中旬～下旬にかけてインターネット形式で手軽に参加可能です！

2. 調査結果と解説を掲載した「C F O F O R U M」9月号を1部無料進呈

財務マネジメント・サーベイ

経理・財務部門と英語力

【ご回答者特典！】

1. “英語版FASS検定”パイロット・テストに貴社から何名でも無料参加可能！

経理・財務部門に必要とされる英語力を測定する格好のチャンス（8月中旬～下旬にかけてインターネット形式で手軽に参加可能です！）。

2. 調査結果と解説を掲載した「CFOFORUM」9月号を1部無料進呈

【ご回答データの取り扱いについて】

ご回答頂きました個社別の回答データは“日本CFO協会”が責任をもって管理し、回答者の同意なく第三者への提供は致しません。

調査結果の分析を専門家へ依頼する場合には全体の集計結果のみを提供し、個社別の回答データを提供することはございません。

以下の質問事項について、該当個所にチェックしてFAXをお願いいたします。

1. 貴社プロフィール

- ①業種 製造業 卸売業 小売業 サービス業 金融業 その他（ ）
- ②グループ売上高 100億円未満 100億円以上～1,000億円未満 1,000億円以上～5,000億円未満
5,000億円以上～1兆円未満 1兆円以上
- ③海外売上比率 0% 10%未満 10%以上～20%未満 20%以上 50%未満 50%以上
- ④グループ従業員数 1,000人以下 1,000人以上～5,000人未満 5,000人以上～1万人以下 1万人以上
- ⑤グループ社数 5社未満 5社以上～10社未満 10社以上～50社未満
50社以上～100社未満 100社以上～300社未満 300社以上
- ⑥海外拠点数 なし 5社未満 20社未満 100社未満 100社以上

以下の項目に関する対前年度比での変化についてお答え下さい。

- ⑦海外売上高伸び 大幅に減少 減少 横ばい(0%前後) 増加 大幅に増加
- ⑧地域的な事業活動領域 拡大 変化なし 縮小
- ⑨子会社数 増加 変化なし 減少
- ⑩M&A件数 増加 変化なし 減少

2. ご回答者プロフィール

- ①ご回答者の役職は次のうちのどれに該当しますか？
CFO/経理担当役員 経理・財務統括幹部 経理幹部 財務幹部 その他（ ）
- ②ご回答者の年齢は次のどれに該当しますか？
60代 50代 40代 30代 その他（ ）
- ③過去に海外留学を経験していますか？
有り [ビジネススクール ロースクール その他（ ）] なし
- ④海外駐在の経験はありますか？
有り [英国 米国 欧州 南米 中国 東南アジア インド その他（ ）] なし
- ⑤海外駐在期間は累計で何年ですか？
なし 3年以内 3年超～5年以内 5年超～7年以内 7年超～10年以内 10年超～15年以内 15年超
- ⑥最後に受けたTOEIC試験の点数についてお答えください。
860点～ 730点～855点 470点～725点 220点～465点 ～215点 受験していない/記憶が無い

3. ご回答者の英語によるコミュニケーションについて

- ①業務上の英語による会話・コミュニケーション力は以下のどれがあてはまりますか？
英語でのコミュニケーションには特に不安を感じる点はない。
議論中であっても自分の意見を問題なく話せるが、相手の理解と信頼を得ることができるかは不安。
通常の会話ではあまり問題ないが、一旦議論になると自分の意見を進めることができない。
相手の言っていることは概ね理解できるが、自分の意見をうまく説明することができない。
相手の言っていることがよく理解できないために、話についていくことができない。
その他（ ）
- ②業務上の英語によるEメール・文書でのコミュニケーション力は以下のどれがあてはまりますか？
英語でのコミュニケーションには特に不安を感じる点はない。
相手の言っていることは概ね理解でき、自分の意見もなんとか伝えることはできる。
相手の言っている内容は時間をかければほぼ理解できるが、自分の意見をうまく書くことができない。
その他（ ）

③現在、どの業務分野で通訳（専門の通訳および英語堪能な社員）を活用していますか（複数回答可）？

- 海外 IR（ロードショウ） 海外企業との交渉（電話・電話会議） 海外企業との交渉（海外出張・面談）
海外拠点を交えたグローバル経理・財務会議 役員会・経営会議
海外拠点とのやりとり（電話・電話会議） 海外拠点とのやりとり（海外出張・面談）
本社にいる外国人スタッフとのやりとり
金融機関・監査法人・コンサルティングファーム等の外国人とのやりとり（電話・電話会議）
金融機関・監査法人・コンサルティングファーム等の外国人とのやりとり（海外出張・面談）
その他（ ）

④CF0としてどの業務分野で自分の英語力の必要性を感じていますか（複数回答可）？

- 海外 IR（ロードショウ） 海外企業との交渉（電話・電話会議） 海外企業との交渉（海外出張・面談）
海外拠点を交えたグローバル経理・財務会議 役員会・経営会議
海外拠点とのやりとり（電話・電話会議） 海外拠点とのやりとり（海外出張・面談）
本社にいる外国人スタッフとのやりとり
金融機関・監査法人・コンサルティングファーム等の外国人とのやりとり（電話・電話会議）
金融機関・監査法人・コンサルティングファーム等の外国人とのやりとり（海外出張・面談）
その他（ ）
特に必要性を感じることはない

その理由：通訳または英語堪能な部下がいるため その他（ ）

⑤貴社のCF0はどの程度の英語力が必要だと思いますか？

- 英語でのコミュニケーションには特に不安を感じることはないレベル。
専門的な業務についての話題でも、やや不安はあるものの自分の考えを伝えることができるレベル。
相手と議論が出来るほどではないが、日常業務に関することであれば自分の考えを伝えることができるレベル。
自分の意見をうまく説明することができないが、相手の言っていることは概ね理解できるレベル。
その他（ ）
特に英語力は必要ない（理由： ）

4. 海外駐在の経験

①海外駐在の経験は経理・財務部門のキャリアパスに必要だと思いますか？

- 必要不可欠 不可欠ではないが望ましい 何とも言えない その他（ ）

②海外駐在を経験させることに際し、社員の英語力を重視しますか（複数回答可）？

- 一定以上の英語力は必須 英語力は重視するが必須ではない 英語力は必ずしも必要ない
非英語圏は現地語をより重視 何とも言えない その他（ ）

③経理・財務部門の中で、海外勤務を経験する社員の割合はどの程度ですか？入社後の経験年数ごとに回答ください。

- 経験年数 10 年目まで : 10%以下 10%超 30%以下 30%超 50%以下 50%超 80%以下 80%超
経験年数 11 年目以降 : 10%以下 10%超 30%以下 30%超 50%以下 50%超 80%以下 80%超

④海外駐在の人数が増加すると思う地域に「○」、変化ないと思う地域に「△」、減少すると思う地域に「×」をつけてください。

- 英国[] 米国[] 欧州[] 南米[] 中国[] 東南アジア[] インド[]
その他（ ）[]

5. 貴社経理・財務部門の英語教育

①英語力のある人材は必要だと思いますか？

- 今も必要で、今後も更に必要 今は必要ないが、今後は必要 今も必要ないし、今後も必要なし なんとも言えない

②英語が必要な経理・財務部門の部門/スタッフはどれですか（複数回答可）？

- 全てのスタッフ 海外要員 M&A IR 本社の海外拠点管理スタッフ
その他（ ） 特に必要を感じる部門はない

③英語力強化の必要性を感じている理由がある場合次のどれが当てはまりますか（複数回答可）？

- 外国人投資家向け IR の強化 海外展開の積極化のため 海外拠点の管理強化 外国人採用の本格化
多様な考え方の取り込み 情報収集チャネルの拡大 翻訳・通訳コストの削減
その他（ ） 特に感じていない

④貴社経理・財務部門における英語の位置づけは次のどれが当てはまりますか？

- 公用語である、または今後公用語化の方向に進む。
必須であるが、公用語化されることはない。
必須ではないものの、必要性は高まっていく。
英語に堪能なスタッフが一部にいれば十分。
何とも言えない
その他（ ）

⑤上記④でご回答頂いた英語の位置づけについて、社内/部門内で過去に検討したことはありますか？

- 検討済み 検討が必要と感じている 特に検討すべきことではない 何とも言えない

- ⑥貴社の経理・財務部門スタッフの英語力を把握していますか（複数回答可）？
 海外拠点ローカルスタッフを含めたすべての社員について把握している。
 海外拠点ローカルスタッフを含め、幹部社員については把握している。
 日本人スタッフについてはすべて把握している 日本人の幹部社員については把握している。
 日本人で英語に堪能なスタッフが誰かは把握している。 特に把握していない。
 その他（ ）
- ⑦どうやって社員の英語力を測っていますか（複数回答可）？
 社内独自の検定制度等で測定 TOEIC等の外部英語試験で測定 本人の自己申告もしくは海外経験などで把握
 特に測定していない その他（ ）
- ⑧TOEIC等の現状の社会人向けの試験で、経理・財務部門に必要とされる英語力が測れると思いますか？
 十分に測れる ある程度参考にはなる あまり参考にはならない 全く参考にならない その他（ ）
- ⑨貴社では社員の英語教育を実施していますか（複数回答可）？
 教育制度がある 幹部クラス マネージャークラス 若手クラス 全員 その他（ ）]]
 制度は無いが奨励 幹部クラス マネージャークラス 若手クラス 全員 その他（ ）]]
 制度は無く奨励もしていない 何とも言えない
 その他（ ）
- ⑩英語力強化のための貴社内の取り組みではあるものはありますか（複数回答可）？
 必要な社員には研修・留学を実施 希望者には研修の補助金を支給 社内研修や勉強会を開催
 昇給または昇格基準に入れている TOEIC等の級/点数に応じて当支給 社内で英語の使用を奨励
 その他（ ） 特になし
- ⑪英語力のある人材確保に向けてどのような施策を行っていますか（複数回答可）？
 中途採用で強化 外国人採用 日本人留学生 帰国子女 海外経験豊富な日本人 その他
（ ）]]
 新卒採用時に英語力を重視 外国人採用 日本人留学生 帰国子女 その他（ ）]]
 既存社員に英語力向上を義務化 既存社員に英語力向上を奨励
 その他（ ） 特に何もしていない
- ⑫新卒採用または中途採用時に英語力を採用基準に定めていますか？
新卒： 英語力を必須条件としている 英語力は選考条件の一つ その他（ ） 特に定めていない
中途： 英語力を必須条件としている 英語力は選考条件の一つ その他（ ） 特に定めていない
- ⑬英語以外に、外国語能力として重視している言語がありますか（複数回答可）
 中国語 韓国語 フランス語 ロシア語 スペイン語 イタリア語 ドイツ語 アラビア語
 その他（ ） 特になし
- ⑭貴社の経理・財務部門は、他の部門に比べて英語力強化への取り組みは進んでいると思いますか？
対管理部門 進んでいる 何とも言えない 遅れている わからない
対営業部門 進んでいる 何とも言えない 遅れている わからない
対技術部門 進んでいる 何とも言えない 遅れている わからない

6. 経済産業省経理・財務人材育成事業 FASS 検定（経理・財務スキル検定）について

- ①既に FASS 検定を貴社内でも活用していますか
 導入している 奨励している 社内教育に検討中 あまり関心がない FASS 検定について知らない
- ②“英語版”の FASS 検定を、経理・財務英語力測定ツールとして実施検討中です。貴社は英語版 FASS 検定の模擬試験（パイロット・テスト）への参加に興味ありますか？（参加費無料）
 是非参加したい 興味があり詳細を知りたい 何とも言えない 興味が無い その他（ ）
- ③“英語版”の FASS 検定は、経理・財務部門に必要とされる英語力測定に役立つと思いますか？
 役立つと思う ある程度参考になると思う あまり参考にならないと思う わからない
- ④昨年の経産省委託事業（※）に続き、アジア 5カ所（インド・タイ・シンガポール・マレーシア・香港）に対応した現地語による FASS 検定開発のための模擬試験（パイロット・テスト）への参加にご興味ありますか（参加費無料）
※昨年模擬試験を実施した中国・韓国・フィリピン・ベトナム・インドネシアでは、今年秋よりサービス提供開始します。
 是非参加したい 興味があり詳細を知りたい 何とも言えない 興味が無い その他（ ）

本サーベイの結果と解説は次号「CFO FORUM (9/10 発行)」にて特集致しますので、次号「CFO FORUM」をご希望の方は必ずご連絡先（お名前・ご住所・お電話番号等）をご記入ください（無記名の場合にはお届けすることができませんのでご了承ください。）
（証券コード： ）

ご氏名： _____ 様 ご勤務先： _____

部署名： _____ お役職： _____

ご勤務先所在地： 〒 _____

TEL： _____ FAX： _____ Email： _____ @ _____